

ごあいさつ

皆さまには、平素より高知県信用農業協同組合連合会（JA バンク高知信連）をご利用いただき誠にありがとうございます。

当会は、昭和 23 年の設立以来 78 年にわたり、高知県の農業や地域社会の発展を金融面より支援する地域金融機関として歩んでまいりました。これもひとえに皆さまの温かいご理解とご支援の賜と深く感謝申し上げます。

本年も当会の事業や経営内容について皆さまにご紹介いたしたく、小誌を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、日本経済は、賃上げが 2 年連続で 5% 超となるなど、賃上げの継続や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復を続けました。今後も、所得環境の改善や政府の経済対策を背景に、個人消費および設備投資を中心とした国内需要が成長を牽引すると見込まれていますが、世界経済の不確実性など外部環境は引き続きリスク要因となることが想定されます。

国内の金融政策については、日本銀行が令和 6 年以降、段階的な利上げを進め、金融政策正常化のプロセスが本格化しました。今後は、金利上昇が企業・家計に与える影響を見極めつつ、物価安定と景気回復の両立を図るために日本銀行がどのように舵取りを行っていくかが注目されます。

農業分野では、気候変動の影響による高温・渇水・局地的大雨などにより、米や野菜の生育遅延が発生し、米価は記録的水準まで高騰しました。さらに、世界情勢の不安定化や円安の進行により、肥料・燃料等の生産資材価格が高止まりし、農業経営への負担は一段と増大しています。農業人口の減少が続く中、生産基盤の強化と農業所得の向上が喫緊の課題となっています。

こうした情勢下、当会は「中期経営計画（令和 7 年度～令和 9 年度）」の 2 年目として、引き続き持続可能な収益力と健全性が確保された強固な財務基盤を実現し、会員 JA に対する安定的な収益還元に努めてまいります。そして、組合員・利用者が安心して利用できる JA バンクサービスを提供し続けるために、JA バンク高知として変化に柔軟に対応できる事業モデルの構築および事業・組織基盤強化に向けた取り組みを行ってまいります。

今後とも、県内 JA と一体となった信用事業運営に対しまして、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和 8 年 7 月

高知県信用農業協同組合連合会
 経営管理委員会会長 久岡 隆
 代表理事理事長 東山 英仁